

高井戸団地無料健康相談 開催案

【概要】

現在高井戸団地には、750世帯、1000人以上の入居者が居住しており、近隣区市町村内では最大規模の都営住宅となっている。高齢者世帯、低所得世帯、多問題家族、単身高齢者等の増加が著しく、近年の社会的問題でもある孤独死や認知症などの発見に時間を要するケースも多い。

【都内における都営住宅の現状】

・単身者世帯の増加

→入居世帯数:238,790世帯 うち単身世帯数:38%(H25年度)

・生活保護世帯の増加

→生活保護受給世帯数:199,221世帯 全入居世帯数の約83%(H25年度)

・高齢者世帯の増加

→生活保護受給世帯中、高齢者世帯は62%

「都営住宅の現状と 公的住宅における取組事例【資料集】 - 東京都都市整備局」より

【高井戸団地が抱える課題】

- ① 高齢化
- ② 福祉医療系サービスの未介入により、問題が重篤化、多問題化するケースが増えている
- ③ 孤独死の増加
- ④ 経済的問題による介護サービス等の利用の限界
- ⑤ 精神疾患や共依存、家族間トラブル等課題解決困難な状況に陥っている多問題家族の増加

【浴風会病院の今後の取り組み】

①高井戸団地無料健康相談会の開催

・高井戸団地集会所で行われている「高井戸いちばん体操」と協働し、参加者の健康相談会

②自治会と協働した自宅訪問

・健康意識の高い地域住民の視点を活かし、参加者の健康相談のみならず、参加者が心配しているご近所の問題ケースの相談も受けけるとともに、自治会との協働で訪問等の検討。

③地域連携の強化

・従来からある地域の資源を積極的に活用し、地域で支える仕組みづくりへ

→認知症早期発見・早期診断推進事業の活用

→認知症初期集中支援チームの活用

→各地域包括支援センターとの協働

→認知症サポーターとの協働

→浴風会内施設との連携(居宅、デイ、ショート等)

【期待する効果】

①疾病の早期発見・早期対応

- ・参加者の病気や介護に対する意識の向上。
- ・認知症の早期発見・早期対応
- ・団地内でうずもれている困難ケースの早期発見・早期対応

②地域包括支援体制の構築

- ・団地内における地域住民主体の見守り体制の構築
- ・地域の関係機関との連携強化

③浴風会内施設の利用率向上

- ・浴風会病院外来患者増
- ・デイサービス、ショートステイ利用者増
- ・無料低額診療施設としての役割の遂行

【無料健康相談実施メンバー】

- ・認知症疾患医療センター担当メンバー

医師：古田、雨宮、市岡

看護師：白川、深野（今後、認知症対応力向上研修修了者なども検討）

心理士：諸橋

作業療法士：花田

介護福祉士：中村、河西

精神保健福祉士：高橋（智）、村松、高橋（三）

事務：高尾

【備品等の整備】

- ・血圧測定器 3 台
- ・訪問診療セット 1 セット

【スケジュール（予定）】

- ・平成29年度4月～ 毎月第三金曜日 14:00～15:30 高井戸団地集会室
- ・訪問依頼については、関係機関等と協議のうえ検討する。